

2026 年 2 月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2025 年 10 月 15 日

上 場 会 社 名 横浜ライト工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1452 URL <https://www.y-wright.com/>
 代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浜口 伸一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 石川 勝之 (TEL)045(355)5500
 中間発行情報提出予定日 2025 年 11 月 28 日 配当支払開始予定日 -
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026 年 2 月期中間期の連結業績 (2025 年 3 月 1 日～2025 年 8 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026 年 2 月期中間期	1,485	—	211	—	215	—	153	—
2025 年 2 月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026 年 2 月期中間期 154 百万円 (— %) 2025 年 2 月期中間期 — 百万円 (— %)

	1 株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026 年 2 月期中間期	3,254.43	—
2025 年 2 月期中間期	—	—

(注) 1. 当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であるため、2025 年 2 月期中間期の数値及び対前年中間期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026 年 2 月期中間期	2,714	1,301	47.9
2025 年 2 月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2026 年 2 月期中間期 1,301 百万円 2025 年 2 月期 — 百万円

(注) 当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であるため、2025 年 2 月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025 年 2 月期	0.00	0.00	0.00
2026 年 2 月期	0.00		
2026 年 2 月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026 年 2 月期の連結業績予想（2025 年 3 月 1 日～2026 年 2 月 28 日）

（％表示は、対前期増減率）

	売 上 高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1 株当たり 当期純利益
通 期	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
	2,754	—	97	—	106	—	69	—	1,460.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
理由：2025 年 6 月 2 日に株式会社福山テクノの株式を取得し子会社化したため、2026 年 2 月期中間期より連結決算へ移行いたしました。

※ 注記事項

- （１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 １社 株式会社福山テクノ
- （２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026 年 2 月期中間期	50,000 株	2025 年 2 月期	50,000 株
② 期末自己株式数	2026 年 2 月期中間期	2,700 株	2025 年 2 月期	2,700 株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026 年 2 月期中間期	47,300 株	2025 年 2 月期中間期	47,300 株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
（1）中間連結貸借対照表	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
（3）中間連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（会計基準等の改正に伴う会計方針の変更の注記）	8
（セグメント情報）	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

当連結会計年度（2025 年 3 月 1 日から 2026 年 2 月 28 日まで）は連結財務諸表の作成初年度であるため、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書については、前連結会計年度との対比は行っておりません。

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における日本経済は、依然として物価高騰に歯止めがかからず、人材不足による企業倒産も増加するなど、先行き不透明な状況が続いております。

建設業界においても、資材価格の高騰や人材不足の影響は大きく、再開発事業の中止やマンション建設の減少が目立っております。一見すると建設需要は活況に見えるものの、将来に対する不安定要素を多く抱える状況です。

このような経営環境の中、当社は保有する特許技術を活かし、病院・工場などの大型案件を受注し、堅調な業績を上げることができました。さらに、2025 年 6 月 2 日に M&A を実施し、完全子会社となった株式会社福山テクノによる営業拡充効果もあり、鹿児島県の大規模商業施設案件の受注にもつながるなど、事業基盤の拡大が着実に進んでおります。

利益面においても、特許技術を中心とした高付加価値案件の獲得により、安定的に収益を確保することができました。今後も堅調な推移が見込まれます。

また、これらの成果により、当社では賞与の増額支給を実施し、従業員の処遇改善と人員確保を、着実に進めております。

このような環境の中、当社の当中間連結会計期間における経営成績は、売上高は 1,485,552 千円、営業利益は 211,910 千円、経常利益は 215,578 千円、親会社株主に帰属する中間純利益は 153,934 千円となりました。

なお、当社は単一セグメントのため、セグメント別の業績等の記載は省略しております。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、1,612,951 千円となりました。この主な内訳は、現金及び預金が 890,617 千円、完成工事未収入金が 533,114 千円、受取手形が 91,630 千円等であります。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、1,101,417 千円となりました。この主な内訳は、機械及び装置が 552,168 千円、土地が 141,272 千円、保険積立金が 115,254 千円、のれんが 106,437 千円等であります。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、647,272 千円となりました。この主な内訳は、工事未払金が 301,718 千円、1 年内返済予定の長期借入金が 137,965 千円、未払法人税等が 66,871 千円等であります。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、765,877 千円となりました。この内訳は、長期借入金が 626,460 千円、退職給付に係る負債が 129,655 千円等であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、1,301,218 千円となりました。この主な内訳は、利益剰余金が 1,279,313 千円等であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026 年 2 月期中間期より中間連結財務諸表を作成することになったことにともない、連結業績予想を記載しております。具体的には売上高 2,754,000 千円、営業利益 97,000 千円、経常利益 106,000 千円、親会社株主に帰属する当期純利益 69,000 千円と予測しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)	
当中間連結会計期間 (2025 年 8 月 31 日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	890,617
受取手形	91,630
完成工事未収入金	533,114
未成工事支出金	69,038
その他	31,650
貸倒引当金	△ 3,100
流動資産合計	1,612,951
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	51,465
機械及び装置（純額）	552,168
車両運搬具（純額）	57,968
工具、器具及び備品（純額）	22,390
土地	141,272
有形固定資産合計	825,265
無形固定資産	
のれん	106,437
ソフトウェア	1,983
その他	832
無形固定資産合計	109,252
投資その他の資産	
投資有価証券	5,402
保険積立金	115,254
繰延税金資産	10,477
その他	38,713
貸倒引当金	△ 2,949
投資その他の資産合計	166,898
固定資産合計	1,101,417
資産合計	2,714,368

(単位：千円)	
当中間連結会計期間	
(2025 年 8 月 31 日)	
負債の部	
流動負債	
工事未払金	301,718
1 年内返済予定の長期借入金	137,965
未払法人税等	66,871
未払消費税等	11,975
賞与引当金	6,810
その他	121,931
流動負債合計	647,272
固定負債	
長期借入金	626,460
繰延税金負債	9,523
退職給付に係る負債	129,655
その他	238
固定負債合計	765,877
負債合計	1,413,149
純資産の部	
株主資本	
資本金	33,000
利益剰余金	1,279,313
自己株式	△ 13,382
株主資本合計	1,298,930
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	2,288
評価・換算差額等合計	2,288
純資産合計	1,301,218
負債純資産合計	2,714,368

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	当中間連結会計期間 （自 2025年 3 月 1 日 至 2025年 8 月31日）
売上高	1,485,552
売上原価	1,112,303
売上総利益	373,248
販売費及び一般管理費	161,338
営業利益	211,910
営業外収益	
受取利息	385
受取家賃	1,213
受取保険金	3,492
スクラップ売却益	1,009
その他	565
営業外収益合計	6,665
営業外費用	
支払利息	2,641
減価償却費	343
手形売却損	13
営業外費用合計	2,997
経常利益	215,578
特別利益	
固定資産売却益	7,010
特別利益合計	7,010
税金等調整前中間純利益	222,588
法人税、住民税及び事業税	51,974
法人税等調整額	16,680
法人税等合計	68,654
中間純利益	153,934
親会社株主に帰属する中間純利益	153,934

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

当中間連結会計期間	
（自 2025 年 3 月 1 日	
至 2025 年 8 月 31 日）	
中間純利益	153,934
その他の包括利益	
その他の有価証券評価差額金	639
その他の包括利益合計	639
中間包括利益	154,573
（内訳）	
親会社株主に係る中間包括利益	154,573

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計基準等の改正に伴う会計方針の変更の注記）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第 27 号 2022 年 10 月 28 日）、

「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第 25 号 2022 年 10 月 28 日）及び「税効

果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 28 号 2022 年 10 月 28 日）を、

当中間連結会計期間の期首から適用しています。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報）

当社は、杭抜き事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。